

人・模・様

書の楽しみを墨の絵本で

神戸市在住の書道家で戸屋書道くらぶを主宰する金子祥代さん 〓写真〓が、墨の絵本「インクの魔法」(幻冬舎ルネッサンス)を出版。23日から、原画展が東京都内で開催される。

金子さんは東京生まれ。7歳から書を始め、書道家・友野浅峰さん(湖心社代表)の門下生。書といえは漢字、かなを思い浮かべるが、金子さんはそうした枠組みにはとらわれず「墨を使ったアート」と考えてきた。だが、書に関心の薄い人には書のおさがなかなか伝わらない。そ



こで、「個展に来てくれる愛好家だけでなく、一人でも多くの人に書を楽しんでほしい」と、絵本作りを思いついた。

「インクの魔法」には、自分にぴったりの万年筆に出合った若い女性を描いた衣題作はじめ4編を収録、幻想的な書で彩った。「物語は創作ですが、出会いや私自身の人生が投影されている」と語る。

「インクの魔法展」は23日から27日まで、東京都目黒区美術館区民ギャラリーで開催、約40点の原画のほかドレスなどが展示される。

【佐藤由紀】